



国際文化交流の祭典の推進 外務省の取組について

平成31年2月1日

第2回国際文化交流の祭典推進会議

外務省 国際文化交流の祭典の推進関係事業

1. 文化芸術交流事業（国際交流基金運営費交付金（平成31年度予算（政府案）：13,322,192千円）の内数） （平成30年度予算：12,562,015千円の内数）

- 海外における祭典参加／美術展等実施
- 海外展助成
- 海外派遣助成

2. アジア文化交流強化事業費 （平成30年度：3,664,749千円（国際交流基金アジアセンター支出見込み額）の内数）

- アジア・文化創造協働助成

3. 閣僚級招へい（平成31年度予算（政府案）：47,985千円）（平成30年度予算：46,311千円）

4. 国際文化交流の祭典の推進に資するその他の施策

- 在外公館，国際交流基金等の海外事務所等を通じた広報
- 国内の大規模祭典に関する海外の祭典関係者等との連携支援
- 情報収集・提供

1. 文化芸術交流事業（平成31年度予算（政府案）：13,322,192千円の内数）

事業概要・目的

- ◆ 多様な日本の文化や芸術を様々な形で世界各地に向けて発信。また、双方向型共同作業や専門家の派遣・招へいにより、文化芸術分野のネットワーク構築と人材育成を促進。国際交流基金が実施する文化芸術交流事業。

国際文化交流の祭典の推進に関連する取組

➤ 海外における祭典への参加／美術展等実施

海外国際展（ヴェネチア・ビエンナーレ）への参加の他、国内外の美術館・博物館等との共催により日本の美術作品紹介の展覧会を実施。

➡ 日本の芸術家やキュレーターを派遣することで、海外の祭典関係者とのネットワークを構築・維持。

➤ 海外展助成

日本の美術、文化、作家、作品を紹介する海外の展覧会等に対し経費の一部を支援。

➡ 日本の芸術家やキュレーターの認知度を高め、交流を支援することで、海外の祭典関係者とのネットワークを構築・維持。

➤ 海外派遣助成

日本の芸術や文化の海外への紹介や文化芸術分野における国際的な貢献を目的として、海外において公演、講演、ワークショップ等の文化芸術事業を実施するために海外に渡航する芸術家や日本文化諸分野の専門家等に対し支援。

➡ 日本の芸術家支援を通じ、海外の芸術祭典関係者との交流・連携を強化

事業イメージ

◆ 海外における美術展への参加／実施

国際交流基金はヴェネチア・ビエンナーレ（国際美術展及び国際建築展）国別参加展示の

日本館コミッショナーの任にあたり、日本館展示を毎回主催するとともに、日本の芸術家等を派遣。



第57回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展
日本館 photo by Keizo Kioku

◆ 海外派遣助成

2017年、アヴィニオン演劇祭（フランス）オープニングを飾った、SPAC（静岡舞台芸術センター）による『アンティゴネ』上演を支援し、訪仏した同芸術総監督を務める宮城聡氏と現地における演劇祭関係者との交流にも貢献。



アヴィニオン法王庁中庭で上演された『アンティゴネ』
© Christophe Raynaud de Lage

2. アジア文化交流強化事業(平成30年度:3,664,749千円(支出見込み額)の内数)

事業概要・目的

- ◆ 日本語教育, 芸術・文化, スポーツ, 市民交流, 知的交流等さまざまな分野での交流や協働を通じて, アジアにともに生きる隣人としての共感や共生の意識を育むことを目指し, ASEAN諸国を中心としたアジアの人々との双方向の交流事業を実施・支援。国際交流基金アジアセンターが実施。

国際文化交流の祭典の推進に関連する取組

➤ アジア・文化創造協働助成

日本とASEAN 諸国を中心とするアジアの人々のアイデンティティと多様性を尊重しあい, とともにアジアの新たな文化を創造していくことを目指し, 様々な分野の専門家・専門機関が取り組む協働事業及びその成果発信事業に対して支援を実施。

- ➡ 国内大規模祭典へのアジアの芸術家・文化人, 祭典関係者の参加を支援することにより, 我が国における大規模祭典の活性化, 企画・運営に関するノウハウや知見の獲得を図る他, 日本の芸術家等がアジアの祭典に参加することで, アジア域内の祭典ネットワーク構築に寄与するとともに, アジアの芸術家・文化人, 祭典関係者の帰国後の海外での発信強化につなげる。

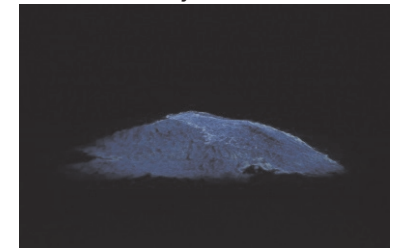
事業イメージ

◆ アジア・文化創造協働助成

- ・「ヨコハマ・パトリエンナーレ2017」において, 日本及びシンガポール, インドネシア, カンボジア等アジア各国の“障害者”と“多様な分野のプロフェッショナル”による創作・協働から生まれるアートプロジェクトを支援。
- ・「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」において, 東京藝術大学が茨城県大子町の協力のもと, タイ, インドネシア, シンガポール, フィリピンの大学らと連携して実施した「藝大子アートプロジェクト」等を支援。
- ・「瀬戸内国際芸術祭2016」において, アジア各国とのアートプロジェクト, シンポジウム, およびワークショップの実施等を支援。
- ・インドネシアにおいて開催された「ジャカルタビエンナーレ2017」を支援。日本人を含むアジア各国のアーティストが参加。
- ・シンガポールにおいて開催された「シンガポール国際アートフェスティバル(SIFA)2016」において, 日本・インドネシア・シンガポールによる野田秀樹作「三代目, りちゃあど」の共同制作・発表を支援。



ヨコハマ・パトリエンナーレ2017
(カンボジアとの協働パフォーマンス)
© Hajime Kato



ジャカルタビエンナーレ2017
(高橋啓祐氏の作品)
©Yayasan Jakarta Biennale | Jin Panji

3. 閣僚級招へい（平成31年度予算（政府案）：47,985千円）

事業概要・目的

- ◆ 諸外国の世論形成、政策決定に大きな影響力のある外国要人を招へいし、対日理解の促進、我が国外交政策推進の円滑化、中長期的な親日家・知日家の育成・底上げを図る（過去の実績：平成29年度：26名、平成28年度：21名、平成27年度：16名）。

事業イメージ

- ◆ 海外要人の大規模祭典への視察等
海外要人を招へいた際に、プログラムの一部として大規模祭典への視察等を検討。

4. 国際文化交流の祭典の推進に資するその他の施策

（1）在外公館、国際交流基金等の海外事務所等を通じた広報

概要

- ◆ 世界各国・地域に所在する在外公館や独立行政法人国際交流基金の海外事務所等において実施される各種レセプション、各種行事等の機会を捉え、また、在外公館や海外事務所が有するSNS等の発信手段を通じ、我が国において実施される大規模祭典に関する積極的な広報に努める。

（2）国内の大規模祭典に関する海外の祭典関係者等との連携支援

概要

- ◆ 諸外国・地域の政府機関、祭典関係者等から日本の大規模祭典に関する情報提供依頼に対応。海外との連携も強化していく。

（3）情報収集・提供

概要

- ◆ 国内外の文化芸術関係者等が、相互に各種の情報を把握することができるよう、在外公館等を通じて積極的に情報を収集・提供していく。